スポーツ報知
2016年8月12日

女子1セットも落とさず 小布施6戦全勝で8強

男子、女子、男女混合の3部門の予選リーグ164試合が行われ、それぞれ8強が出そろった。女子は2回の優勝を誇る名門・小布施（長野）が6戦全勝。1セットも落とさない圧倒的な強さで進出を果たした。男子は今大会最長身となる181センチの大型アタッカー、鳴海魁馬（かいま・6年）の岩木VBC（青森）がベスト8入り。決勝トーナメントは12日に東京体育館で行われ、各部門の優勝チームが決定する。

報知新聞社後援 ファミリーマートカップ
全日本バレーボール小学生大会
第3日（11日・東京体育館ほか）

2年前Vユニ 着て予選突破

"気合の勝負服"で強豪復活だ。小布施は得意のサーブで相手のバランスを崩すと、中山万葉主将（6年）を中心とした3人のアタッカーがスパイクを次々とたたきつけ、圧巻の全戦ストレート勝ちを収めた。中山は「サーブが良かったです。打ち崩せることができた」と満足げだった。

今大会はユニホームを3枚用意。1枚は着替え用。2枚目は予選で着る赤色。3枚目が赤を基調とし文字が金色の2年前に優勝した時のユニホームで、準々決勝進出決定戦で着用した。憧れの先輩たちの"魂"を継承した中山は「これを着たら気合が入ります。決勝トーナメントもこれを着て頑張る」と決意を示した。

昨年は決勝トーナメント目前にフルセットで敗退。2年ぶりの8強進出に、松島博監督（65）は「今年はサーブがいい。目指すは優勝ですね」と昨年の雪辱を誓った。

主催 日本バレーボール協会 日本小学生バレーボール連盟
共催 読売新聞社 開催地バレーボール協会
後援 報知新聞社 スポーツ庁 日本体育協会 日本スポーツ少年団

東京都 埼玉県教育委員会 千葉県教育委員会 神奈川県教育委員会 相模原市教育委員会 相模原市体育協会

2年前に優勝したユニホームで試合に臨み大会全勝の小布施メンバー

181センチ 鳴海で突破

青森男子・岩木VBC

今大会最長身181センチの鳴海がチームを決勝Tへと導いた。3試合目には今大会初のブロックを受け、苦しめられたが、フェイントや強烈なサーブで得点を量産。「エースとしてチームを引っ張る」と全国制覇へ熱を送った。

徳本躍動も……涙

大阪女子・新北野

135センチの主将・徳本歩未香（6年）が躍動するも決勝T進出ならず。小バレーは見せられたと思う」と涙をこぼした。

出場し、ベスト32に入った運動神経抜群な徳本はコートを走り回り、好レシーブを連発したが最後は足が止まった。「つなぐ

7人全員戦うも

広島混合・誠クラブ

7人全員で戦い抜いたが8強入りを逃した。優勝の願いを込め、水晶のネックレスを全員で着用するも実らず。奥田恵主将（6年）は「悔しい。自分の経験したことを伝えて監督になりたい」と話していた。

小松琢磨（高知混合・泉野VBC6年）「勝ててうれしいです。決勝トーナメントでは俺のスパイクで勝って優勝したい！」

こんな大会ない 北京から視察

○…中国・北京市の和平里第九小バレー部の生徒24人が大会を視察した。「こんな全国大会は中国にはありませんが。選手のレベルは高いし、大会運営もすばらしい。日本のバレーボール人気の高さに感銘を受けました」と、北京市中小学排球教研の魏金祥さんは驚いていた。日本小学生連盟の嶋岡健治会長は今後、アジアとの交流をどんどん進めていく方針を明らかにした。

前芝皓規（和歌山男子・南部スポ少6年）

「全国はレベルも身長も高くてびっくりしたけど、楽しくできた」

金野礼滋（岩手男子・大船渡6年）

「昨年まで県ベスト8だったので全国16強にこられてうれしい。自分たちの攻撃力を見せられた」

小野乃里佳（岡山女子・鴨方6年）

「練習したことが出た。1試合目は負けたけど、最後は勝って終わることができた」

◇試合結果 速報は日本バレーボール協会のホームページに掲載。

◇大会方式 都道府県代表（北海道は2チームと混合の40チームが参加。各部門に分かれ10、11日に予選リーグを行いベスト8を決める。12日の最終日に準々決勝からの決勝トーナメントを行う。全て3セットマッチ、3位決定戦は行わない。

レイアウト 和沢 俊介

北京から視察 こんな大会ない

中国・北京市の和平里第九バレー部の生徒24人が大会を視察した。「こんな全国大会は中国にはありません。選手のレベルは高いし、大会運営もすばらしい。日本のバレーボール人気の高さに感銘を受けました」と、北京市中小学排球教研の魏金祥さんは驚いていた。日本小学生連盟の嶋岡健治会長は今後、アジアとの交流をどんどん進めていく方針を明らかにした。